

# 教務だより

2016年9月号  
茗溪塾

茗溪塾教務部 03-3659-8638

## アクティブラーニングということ。

茗溪塾塾長 宇野雅春

もともと、自動車の運転が、あまり好きとは言えない自分の性格からか、だいたい夫婦で行動するときは、妻の方が運転をします。結構豪快な運転をする妻からすると、私の運転は、何かポイントがずれていて逆に「恐怖」を感じるらしいのです。「ホラッ急カーブ！スピード落として！キャー！」みたいな感じでやたら大げさ…こちらも運転のペースを乱されて、思わず信号無視に近い状況になったりします。つまり、黄色信号だから止めようとする、「いけるでしょ！行きなさいよ！」…。そんな風に言われることを予測して黄色を突っ切ろうとすると、「信号無視でしょ！怖い！」という感じで、自分のペースを完全に乱されてしまいます。そういうわけで、夫婦で出かけるときは、必ず妻が運転するという決まりになっていました。

夏期合宿が終わったある日、10年以上も通い続けている「某所」に一人で車で行くことになりました。近くに行きつけの病院や知り合いの家などもあり、頻繁に行っている割には道が何通りもあって、いつも助手席で、ぼんやりと外の景色を眺めているだけの私には、道に対する認識があるようでないのです。

漠然と曲がる道は見当をつけていましたが、そこから先に確信が持てません。

最初の曲がり角に来たとき、それがいつも来るホームセンターの四つ角と知って、ちょっとびっくりしました。頭の中で「某所」とホームセンターがつながっていなかったのです。最初の曲がり角は、ホームセンターとインプット…。そこからまっすぐ走るのですが、どこかで曲がるはずなのに、どこかがわかりません。

見覚えのあるファミマ…見覚えのあるセブンイレブン…どんどんまっすぐ行くうちに見覚えのない道になり、適当に左折…そこで発見、いつも来る「魚市場」何とこんなところにあったのか！そこからはモノレールの道に出て、大体のところまで左折したら、目的地の風景が見えてきました。

順調とはいえない「往き」でしたが、帰りをいつも行く病院までの道を思い出しながら走り、見覚えのある曲がり角を右折…なんとそこにセブンイレブン！つながりました。つまりホームセンターの角で曲がり、まっすぐ走ってセブンイレブンを左折すると、病院の前へ出る。そこからはまっすぐ…。道がはっきりと認識されました。このことを妻に告げると、妻呆然！10年以上も通っていた道がわからなかったなんて！開いた口が塞がらない！…。

そこで思い当たったこと。「さっき教えたのに何で！わからないのか！」といわれる子供の気持ち。妻が心無い大人に重なりました。

つまり、自分で行動しながら自立した判断を下していけば、簡単にわかることが、誰かに頼りながら、漠然と理解したつもりでいると、基本的なことも「理解」にはいかないのではないかと？アクティブラーニングとは、一つ一つを自覚して取り組むことで、本当の理解を早く獲得させる方法論だと思います。

具体物を使い、討論し考えがら、基本事項を習得すること。多分どの教科でもそのことが意識された指導がここからは肝心なことのようによ思えます。

これが不得意克服の大きなヒント！になりはしないか？いろいろなアイデアが頭の中を渦巻いています。